

施策分析シート（平成27年度）

No1

施策名	放置自転車対策の推進	施策No	08-04	部課名	防災都市づくり部交通対策課	課長名	平野 内線 2720
関連部課名							
行政評価事業体系	分野	IV	環境先進都市				
	政策	08	良好で快適な生活環境の形成				
目的	自転車の放置をなくし、安全・安心して通行できる道路環境を確保すると共に、環境に配慮した駅前空間を創出する。						
指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文		
		24年度	25年度	26年度			
	① 周辺環境の快適さ	-	2.97	2.97	お住まいの地域で、生活する上での不快さを感じますか？		
	② 生活環境の充実	-	3.21	3.13	お住まいの地域が、バリアフリーの状況や交通の便、まちなみの良さ、快適さ等の点から総合して暮らしやすい生活環境であると感じますか？		
	③						
標	施策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明	
		24年度	25年度	26年度	27年度見込み		
	① 放置自転車台数（台）	1,110	873	840	820	750	放置台数（午後の定点観測値）
	② 駐輪可能台数（台）	10,021	10,348	10,507	10,600	10,800	民間含む
	③ 自転車置場・自転車駐車場定期登録者数（人）	7,198	7,041	7,298	7,350	7,800	
	④						
現状と課題（指標分析）	<p>○自転車駐車場や自転車置場の整備とともに、条例に基づく放置禁止区域の指定による放置自転車の規制・撤去などを精力的に進めてきた。これにより、ピーク時には駅周辺を中心に6000台以上あった放置自転車は、現在900台以下にまで減少している。</p> <p>○南千住駅周辺と町屋駅周辺において、民間駐輪場の整備が進み、収容台数は区営自転車駐車場に匹敵する規模となっている。</p> <p>○平成24年9月より夜間撤去を開始、平成25年度より引取手のない放置自転車についての一括売却、平成27年10月には地下機械式の三河島自転車駐車場に開設するなど、新たな取組みを進めている。</p>						
	今後の方向性	<p>《今までの成果及び指標分析を踏まえて》</p> <p>○地域ごとに異なる課題等を的確に捉えた上で、効果的な放置自転車対策を進めていく。</p> <p>○民営自転車駐車場育成補助金のPRを継続すると共に、民間自転車駐車場の実態把握や補助金に関する要件等について、他区の動向等を踏まえ、調査・検討していく。</p> <p>○近年における諸課題にも対応した新たな総合計画の策定に向けた検討を進めていく。</p>					

施策の分類		分類についての説明・意見等
27年度	28年度	
推進	推進	地域ごとに異なる課題等を的確に捉えた上で、効果的な放置自転車対策を進めていく。

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		25年度	26年度	27年度	28年度	
放置自転車撤去	10-03-08	88,807	90,804	重点的に推進	重点的に推進	放置自転車対策を、今後も積極的に推進する。
自転車置場・自転車駐車場管理運営	10-03-09	44,532	57,692	推進	推進	放置自転車対策を重点的に行う地域について、自転車を駐車するための施設を整備し、区と指定管理者それぞれにおいて、効率的・効果的な管理運営を行う。
合 計		133,339	148,496			